

# 福島先達山太陽光発電所

## 事業進捗報告書

令和5年4月

事業者：A C 7 合同会社

( Amp 株式会社 )

施工者：株式会社奥村組

東芝プラントシステム株式会社

## ■はじめに

福島先達山太陽光発電事業では、2018年の用地取得以降、各種調査・設計、地元協議、環境アセスメント、開発許認可等を経て、2021年末に造成工事に着手しました。安全第一で、2025年の運転開始を目指しています。

## ■事業者

事業の実施主体	Amp株式会社	東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー16F
事業会社	AC7合同会社	東京都中央区銀座1-6-11 土志田ビルディング3F

## ■事業概要

本発電所から生み出される電力量は、一般家庭約12,000世帯に相当し、化石燃料を利用しない再生可能エネルギーへの代替により二酸化炭素排出量を年間22,000t-CO<sub>2</sub>削減できる見込です。

名称	福島先達山太陽光発電所	所在	福島市在庭坂字金堀沢1-2他
敷地面積	約345ha	内造成面積	約60ha
発電所	特別高圧太陽光発電所	発電規模	約60MW（発電所設備容量）

## ■事業推進体制

大規模な太陽光発電所やインフラ事業での実績が豊富な企業で事業を推進しております。

事業の実施主体	Amp株式会社	発電事業者	AC7合同会社
開発設計	株式会社アーク	環境影響評価	一般社団法人日本気象協会
造成工事	株式会社奥村組	発電設備工事	東芝プラントシステム株式会社

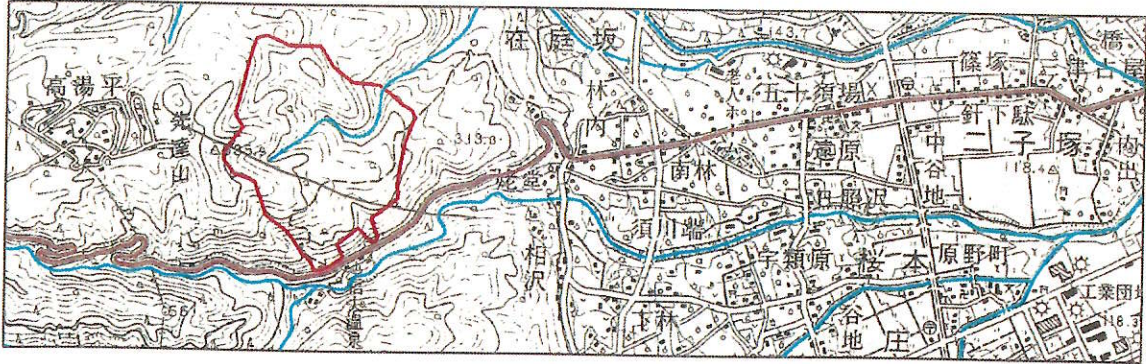
## ■事業スケジュール

2018年より事業推進し、2021年造成工事に着手。2025年の発電所運転開始を目指します。

	2018年 (平成30年)	2019年 (令和1年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)
調査設計他	■							
造成工事					■			
設備工事						■		
発電所運転								■



■発電所位置図



■発電所配置予定図



※計画は現時点のものであり、今後、変更が生じることがあります。



## ■防災計画

造成計画は、ボーリングによる地質調査や沢部の現況調査、加えて土質試験等を行い、地質の特性を十分に把握した上で、福島県林地開発許可基準に基づき設計しています。

沢部での盛土部分の地盤沈下や法面の崩壊を防止するため、十分な転圧を実施すると共に、入念に暗渠排水管（地中の水を排水する機能）を設置し、地中に流れる水（湧き水や浸透水）を、適切に排水します。

水害を防止するため、場内に排水側溝を整備し、最下流部に調節池（4箇所、容量計約8万t）を設置します。調節池は、開発により失われた保水機能を補完する役割があります。調節池が、雨水を一時的に貯めながら時間をかけて排水することで、下流水路への急激な水の流入を抑制します。

濁水の流出を防止するため、造成により裸地となった造成面（太陽光パネル設置部分等）や法面を、改めて緑化することで土の安定化を図ります。また、最下流にある調節池に堆砂機能をもたせ、そこで沈砂させることで、場外への濁水の流出を抑制します。

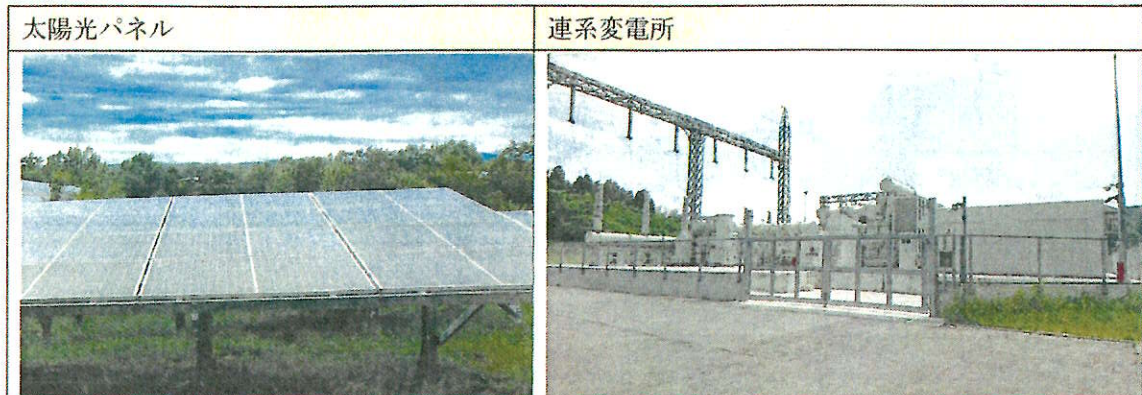
(参考例)



## ■太陽光発電設備

太陽光パネルは、専用の架台を用い、概ね造成の仕上がり面なりに設置します。発電設備の設計は、電気事業法や関係法令並びに JIS 等関連規格を満たしたものとします。設計（構造計算含む）は、工事計画届として監督官庁（経済産業省産業保安監督部）へ提出し、そこで安全性が審査されます。安全性が確認された後に発電設備工事に着手します。工事完了時には、再度、監督官庁の安全管理審査を受けます。

(参考例)



## ■事業経過と今後の予定

- 2018年：事業用地を取得し、開発計画策定のため調査・設計、環境調査を開始
- 2019年：福島県環境影響評価条例に定める準備書作成
- 2020年：準備書の縦覧、意見徴収、福島県の審査、県知事意見を受理  
：環境影響評価法へ移行し、経産省による準備書の審査、経産大臣勧告を受理
- 2021年：環境影響評価法に定める評価書の作成、経産省による審査、経産大臣の確定通知を受理  
：小坂町内会と協定書を締結  
：敷地内にある里道・水路の用途廃止等の申請、許可取得  
：森林法に定める林地開発許可取得  
：造成工事に着手
- 

## ■2022年の進捗

2022年は、造成工事のうち主に準備工事や防災工事をすすめてきました。準備工事では、工事に必要となるアクセス道路、進入路、場内パイロット道路の整備、付帯する伐採をすすめております。防災工事では、布団籠堰堤の設置、沢筋への暗渠排水管布設、調節池の整備をすすめており、加えて事業地外の防災対策として金堀沢へ布団籠布設や袋型根固め工を設置しております。

地元関連では、庭塚北部区、小坂町内会、庭塚南部区、水上町内会、庭塚東南部水利組合、高湯温泉観光協会等と協定書を締結しております。進捗報告、現場見学の開催等、情報の共有及び円滑なコミュニケーションを図ります。

---

## ■2023年以降

2023年は、造成工事では防災施設（調節池4箇所）が順次完成する予定です。調節池が完成したエリアでは造成工事が本格化（全面伐採、土工事（切土・盛土）等）します。2023年末頃より、設備工事も開始する予定です。

2024年は、造成工事と設備工事をすすめ、2025年の建設工事完了・発電所運転開始を目指しております。



■全景写真

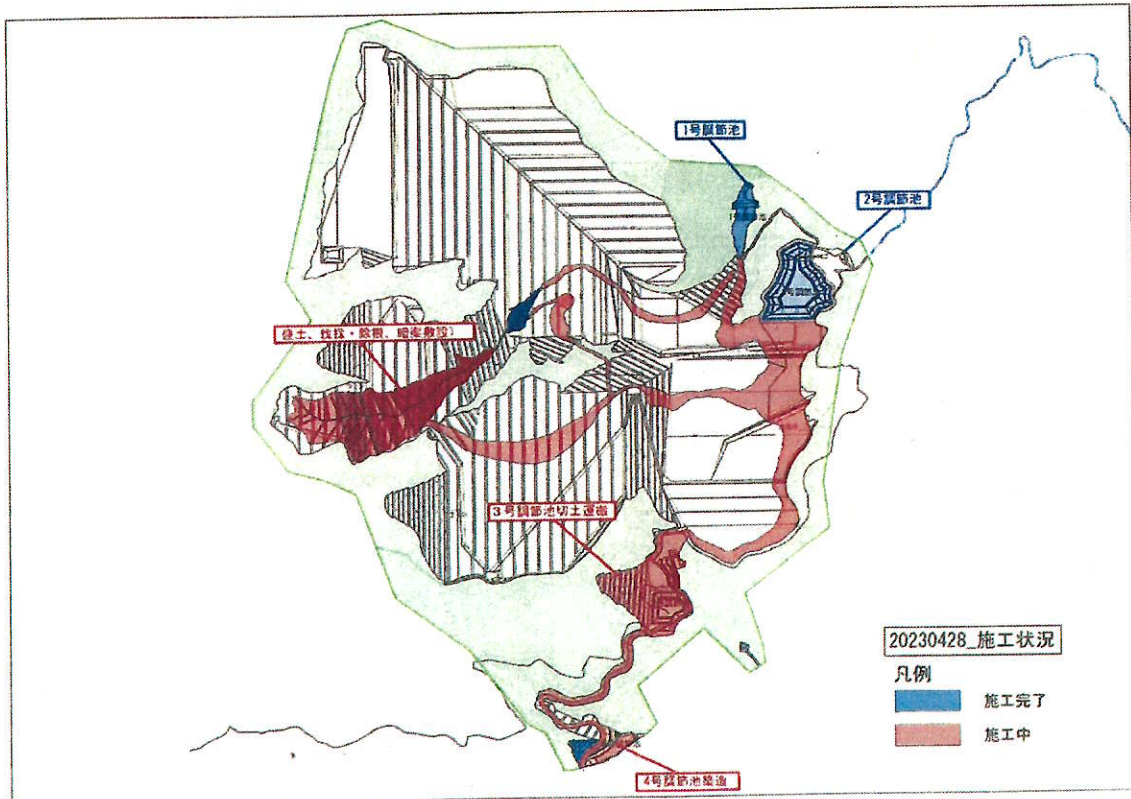
南面より現場を撮影



東面より現場を撮影



■施工状況図





■工事写真

<p>進入路整備工事（県道側）</p> 	<p>場内パイロット道路整備</p> 
<p>布団籠設置工事（3号調節池下流部）</p> 	<p>暗渠排水管布設工事</p> 
<p>金堀沢防災工事</p> 	<p>仮沈砂池</p> 
<p>1号調節池整備工事</p> 	<p>2号調節池整備工事</p> 



### ■奥村組より

造成工事を担当している株奥村組です。地域住民の皆様の安心・安全を確保しながら工事を進捗させることを第一に考えております。

現在、現場は本格的な造成工事を行うための前段階として、調節池等の防災施設工事を行っています。天候に左右されやすい工事ですが、工事従事者全員が一丸となって1日でも早く工事を完成させるよう奮闘しています。

太陽光発電所を構築することで、全世界が目標としている脱炭素化社会の実現に向け一役を担うことが出来れば土木技術者として幸いです。



### ■最後に

今、気候変動は深刻な事態となりました。高温化、豪雨、大型台風、山林火災、大規模干ばつが日常的に発生し、生態系の維持はおろか、人類が生存できる環境ではなくなる可能性が高まっています。その中、再生可能エネルギーである太陽光発電所は、二酸化炭素の排出量の削減により地球温暖化防止として地球環境へ貢献し、また、エネルギー自給率の向上により日本の安全保障へも貢献するものです。Ampは、再生可能エネルギーの普及・拡大を通じ、子供たちの明るい未来を創造します。

### ■連絡先

事業に関するお問い合わせ	Amp株式会社（東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー16F） 担当者：[REDACTED]
工事に関するお問い合わせ	株式会社奥村組（福島市在庭坂字向河原8-10） 担当者：[REDACTED]